

場所のイメージを借用したモール型商業施設の価値形成

奥山研究室 15_03306 小倉 宏志郎 (OGURA, Koshiro)

1.序 1980年代以降、南フランスや北イタリアの街並みを再現したヴィーナスフォートなど、街並みや建築を借用したモール型商業施設が日本各地に建てられた。これらは海外や日本のものを借用し、そのイメージを転用することで施設の価値を形成している。このように場所のイメージを借用したモール型商業施設のウェブサイトを資料とし、その言語表現¹⁾を分析することで、場所の価値形成の一端を明らかにすることを目的とする。

2. 参照対象とその価値の内容

資料としたウェブサイトの言語表現からは「『ポルトガルの下町』の街並みをキーワードに」のようにそのイメージを借用した対象(参照対象)と、「ポルト市と長崎市が姉妹都市」のように対象を借用した理由(参照理由)、また「ポルトガルの建物にみられる『アズレージョ』」のように対象のどのような側面に着目しているか(着目内容)を読み取れる(図1)。そこで本章では参照対象、参照理由、着目内容について検討する。

2-1. 参照対象の内容 参照対象は、対象が存在する地理的な地域区分と、借用した対象の種類で捉えた。地域区分は【海外】と【日本】に分類し、さらに【海外】

では国や州のまとまりについても分類した²⁾。対象の種類は国や地域自体が対象の【国/地域】と、街並みなどを対象とした【景観】、建築物や都市構築物などを対象とした【構築物】に分類した。また「19世紀ヨーロッパの街並み」や「江戸の町並」など、時代を特定する言語表現(時制表現)を伴うものや、【日本】の対象でも施設の立地する地域ではなく他の地域を参照するものがみられたため、あわせて示した(図2)。【海外】では【景観】が大半を占めたのに対し、【日本】では【構築物】や時制表現を伴う対象が多くみられた。

2-2. 参照理由 参照理由は、姉妹都市など都市間の関係による〈交流〉、参照対象と敷地周辺の類似による〈類似〉、参照対象の特徴的な性質に基づく〈特性〉、施設の敷地周辺のものを借用する〈再現〉で捉えた(図3)。

2-3. 着目内容 着目内容は、参照対象の実体的な側面に関するものと非実体的な側面に関するものに大別し、さらに前者は参照対象を構成する建築物やその要素を示す《建築》、街路樹や雑貨などの《物品》、自然環境に基づく《自然》で分類し、後者は人々の感情に訴える《雰囲気》と、イベントなどの《文化》に分類した(図4)。

No.72 メルカつきまち
施設のコンセプトが記載されたウェブサイト

1978年(昭和53年)5月26日ポルトガルのポルト市と長崎市が姉妹都市を提携しています。(略)「ポルトガルの下町の街並み」をキーワードに、ポルトガルの建物にみられる「アズレージョ(白地に青絵の装飾タイル)」を外壁デザインのポイントとして使用しています。(略)現地の街並みを意識し極彩色を避け全般的におとなしい色遣いに配慮しています

2章: 参照対象と価値の内容を検討
2-1: 参照対象の内容を検討
「ポルトガルの下町の街並み」

地域区分	種類
海外 - 欧州 / アメリカ	国 / 地域
日本	構築物

2-2: 参照理由を検討
その対象を借用した理由を検討
「ポルト市と長崎市が姉妹都市」: 【交流】

2-3: 着目内容を検討
対象のどのような側面に着目したかを検討
「アズレージョ」: 【実体・建築】
「おとなしい」: 【非実体・雰囲気】

3章: 参照対象と施設の関係を検討

図1. 分析例

種類	日本 (39)	海外 (52)
国	9. 所沢のイメージ 35. 湘南 41. 浜松の自然や音楽	65. ヨーロッパ 76. 南国らしさ
地域	36. 金沢近郊の開放的でおしゃれな雰囲気 46. 東員町の地域性 58. 四條畷市 77. 日本	66. ヨーロッパ 74. 1. ギリシャ 64. 地中海
地域 (20)	21. 昭和 19. 江戸時代の賑わい	3-2.70-2. 南欧 74-1. ギリシャ
景観 (48)	47. 昭和30年代の町並み 80. 昭和の街並 50. 昭和40年代前後の「元気な大阪」 79-2. 昭和30年代の懐かしい街並み	32. カルチェラタン 33. リヨン市の市街地 63. アウグスブルク
構築物 (23)	2. 旭川の冬景色 6. 天童市の伝統的な街並み 20-2.* 銀座や京都に残る路地 26. 下町 48. 京の路地 68-1. あらぎ島 68-2. 和歌山の緑豊かな稜線や木立 69-1. 広島市の街路パターンと太田川の曲線	5. タビオラ・ガーデンシティ 44. スカンジナビアの小さな町 55-1. イギリス風の街並み
	66. 奈良 / 平城の都 67. 平城京の「市場」	11. ヨーロッパのある街並み 79-1. 西洋風の街並み 70-1.19世紀ヨーロッパの街並み
	40. 明治時代の清水港かいわい	18. 南ヨーロッパの街並み 10. ポルトガルの港町 12.60. 南欧の港町 25.17~18世紀の南フランスや北イタリア
	1-2. 近代洋館風のスタイル 1-1. 札幌の伝統的コロニアル建築 17-1. 鹿鳴館 17-2. 三信ビル	34. イタリアのヒルタウン 54. イタリアの街並 57. スペインの街角 73. ポルトガルの下町の街並み
	24. 大店 29. 「萬屋」と「茶の間」	17-3. スペイン広場 43. ディオクレチアノ神殿 53. パティオ
	20-1. ひさしとのれん 22. 日本庭園の石組み 30.* 京都の町屋 69-2. 鯉城 74-2. 沖繩独特の意匠	15. ヨーロッパの客車 16. コリント様式 23. ネオ・ルネサンス様式 38. 欧州の教会建築

図2. 参照対象の地域区分と種類

参照理由	参照理由
交流 (6)	「横浜市の姉妹提携都市フランス・リヨン市」
類似 (9)	「ギリシャの風景がたぶって見えた」
特性 (9)	「日本の棚田百選にも選出されている」
再現 (27)	「かつての震災によって失われた美しい煉瓦倉庫」

図3. 対象の参照理由

実体 (105)		非実体 (111)		
a: 建築 (63)	o: 物品 (18)	n: 自然 (24)	f: 雰囲気 (95)	c: 文化 (16)
景観の要素となつた建築物など。	雑貨や看板などの物品。	自然環境に基づくもの。	美しさなど感情に訴える価値。	イベントなどの文化的側面。
建築エレメント 街路樹 看板 など	街路樹 看板 雑貨 など	陽光 海 / 水 山 / 緑 など	明るさ 美 非日常感 など	ダンス 歴史 音楽 など

図4. 対象の着目内容

3. 参照対象にみるモール型商業施設の価値形成

以上までに検討した参照対象とその価値の内容について、施設の立地との関係をあわせて検討することで、モール型商業施設の価値形成について考察する。

3-1. 日本の参照対象にみるモール型商業施設の価値形成

【日本】の参照対象について、〈再現〉の参照理由をもつ〔現地〕、施設の立地する地域ではない他の地域のもを借用する〔他地域〕、それ以外で地域を特定しない〔抽象〕に分類し、時制表現とあわせて検討した（図5）。その結果、〔抽象〕では時制表現を伴うものが多くみられた。このことは昭和や江戸の時代に属する一般的な場所のイメージが人々に共有されていると考えられる。

3-2. 海外の参照対象にみるモール型商業施設の価値形成

【海外】の参照対象について、地域区分によって分布を示し、参照理由や着目内容とモール型商業施設の立地³⁾をあわせて検討したところ（図6）、ヨーロッパに位置する参照対象は、アメリカに位置するものに比べて実体の内容をもつものが多くみられた。また、南ヨーロッパに位置するものが【海外】の参照対象のうち最も多く借用されており、西ヨーロッパに位置するものに比べて参照理由を伴わない傾向にあるといえる。このことは、南ヨーロッパという場所についてその価値が広く共有されていることを示すと考えられる。一方、アメリカに位置する参照対象については、実体の着目内容や参照理由を伴わないものが多くみられた。またアメリカ西部に位置する参照対象は、《自然》と〔景観〕をもつものが多くみられた。このことより、アメリカ西部に位置する参照対象は南ヨーロッパに位置するものとは違い、自然環境に基づく価値が広く共有されていると考えられる。

4. 結 以上、場所のイメージを借用したモール型商業施設について、ウェブサイト上の言語表現からその価値形成について検討した。その結果、【海外】を参照対象にする場合、参照理由を伴わず感覚的な着目内容をもつ「アメリカ西部」など、その価値が人々に共有されていると考えられる大衆的な欲望の対象としての場所のイメージが表れていた一方で、【日本】を参照対象にする場合は、過去のものや場所を特定しないものなど、実際の施設とは時空間的な距離がある場所のイメージを借用するという、場所の価値形成のあり方を明らかにした。

註 1) 社団法人日本ショッピングセンター協会が発行する SC 白書 2018 に掲載されたショッピングセンターを中心にモール型商業施設のウェブサイトを通覧し、2019年1月の時点で場所のイメージの借用がみられた80の施設を資料としている。
2) 海外の地域区分についてはヨーロッパとアメリカを分類し、さらにそれぞれ国連統計部の定めた小地域とアメリカ合衆国勢調査局の地域の区分によって分類した。
3) 駐車場台数が1000台以上のものを郊外型、それ未満のものを市街地型と定義した。

	時制表現あり (18)	時制表現なし (21)	No.30 玉川高島屋 S.C
現地 (27)	昭和 (1) 明治 (7) 江戸 (1)	奈良 (2)	時制表現なし・他地域 「石畳、千年格子、柳の街路樹、原部の町屋をイメージさせる建物から一軒家、モダンで斬新な建物が点在。」
他地域 (2)		2	No.47 エルティ932 ガーデンシティ草津 時制表現あり・抽象
抽象 (10)	昭和 (4) 江戸 (3)	3	「『Lty932・ガーデンシティ草津』は、(中略) 昭和30年台の町並みを再現したノスタルジックな飲食店街」

図5 日本の場所のイメージを借用したモール型商業施設の価値形成

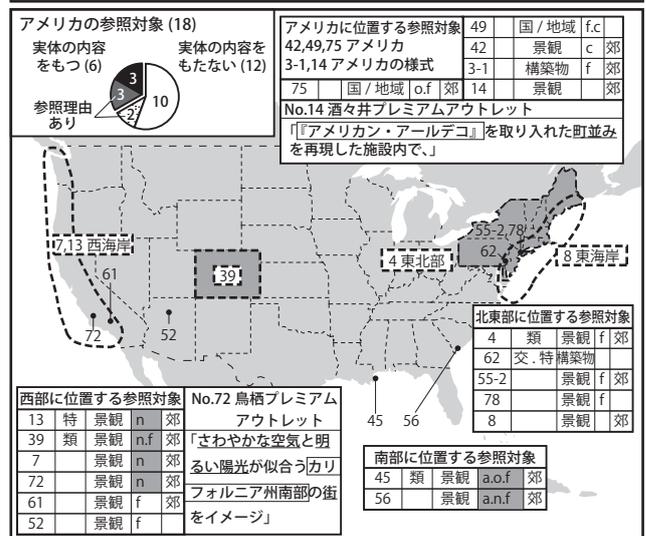
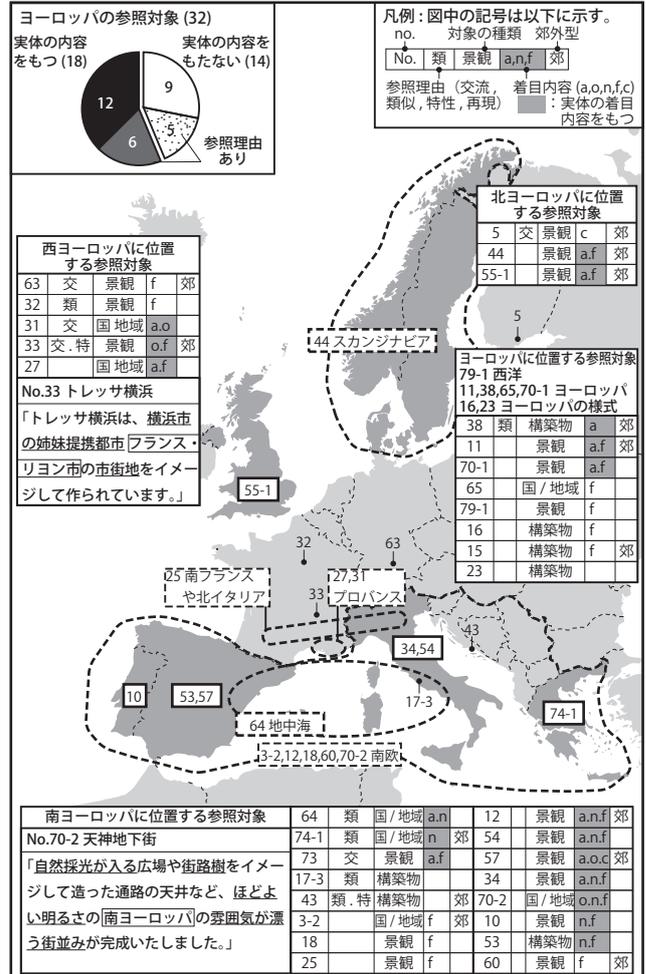


図6 海外の場所のイメージを借用したモール型商業施設の価値形成